

TOTAL-Tが教える
HOW TO AIR BRUSH
AIRBRUSHをはじめよう! -2003- **VOL.11**



考えてみよう!

AIRBRUSH を仕事として

顔を描こう!

モノクロがカラーに大変身!



ワンポイントレッスン

絵のキメどころ...

お勉強のコーナー

手の運び方について...

<http://www.airbrush.com>

はじめに・・・

夢の“AIRBRUSHのHOW TO本” VOL.11

※ ビデオ CD  “ごあいさつ” を参照下さい。

皆さんこんにちは！

いよいよひとくくりの Vol.12 まで残すところあと2回となりました。

毎月少しずつ AIRBRUSH のことを学んでいく本、楽しむ本として発行させてもらっているのですが、おかげさまで現在も新規購読者が耐えないほどの好評ぶりです。

ゆっくり、楽しく、確実にというのがこの本のモットーなので、不足に感じられる方も多いかとは思いますが、これが TOTAL-T 流のやり方！

号を飛ばしていきなり途中の号を購読される方もたまにいらっしゃいますが、それはそれでいいと思っています。

但し、号を飛ばされるよりも、基本からしっかり確実に学んだほうが確実だと思います。

急がず、ゆっくり、確実に！ そうしていけばきっとそこらの AIRBRUSH ペインターよりも上手くなる！ と思って毎月この本を出しているのです。

皆さんに上手くなってもらうのが私の仕事でもあり、楽しみな部分でもあります。

また、技術面もさることながら精神面でも皆さんのバックアップが出来ればと考えています。

逆に私が皆さんにバックアップしてもらっているような気もします。(ありがとうございます！)

この私の気持ちを皆さんにご理解していただいて、この本を楽しく購読していただければと思っています。

TOTAL-T 竹島敏也



挿絵：Shigeru Yamamoto

もくじ

はじめに・・・	0
もくじ	2
まずはいっぷく・・・	4
第1章 ひと言のコーナー	5
第2章 考えてみよう!	6
AIRBRUSHを仕事として・・・	6
第3章 ワンポイントレッスン	7
絵のキメどころ・・・	7
絵のイビツや矛盾・・・	8
第4章 顔を描こう!	9
モノクロがカラーに大変身!	9
第5章 お勉強のコーナー	10
手の運び方について・・・	10
オマケの使い方・・・	11
弟子の独り言	12
第6章 知ってもソンしないコラム	14
ビデオCDとオマケについて・・・	15
編集後記	16

TOTAL-TがBSフジのTV番組に出演!



まずはいっぶく…

この“まずはいっぶく”のコーナーもあと2回。

なんか寂しい気もしますが、私と一緒にあと2回だけこの“いっぶく”につきあって下さいませ！



最近のTOTAL-Tの様子ですが、今までよりちょっとだけ静かです。

夏から秋になり、にぎやかなイベントや祭りも終わり、ホッと一息ついたような感じです。

と、言いながらも新たにやることも増えているのですが…。

弟子の鳥ちゃんとも、ゆっくりお酒を飲みながら語りあう機会も少し出来たような気がします。

秋の夜長を楽しむというのはこのことでしょうか？

皆さんも休める時はゆっくりと休んでリフレッシュし、また新たな気分で次のやる事にとりかかってほしいと思っています。

今回もフーッと一息ついてからゆっくりとりかかっていきましょう！

第1章 ひと言のコーナー

今回のひと言は“みんなありがとう！”です。

この号を入れるとあと2回となったこの本ですが、「こんな私なのに、ここまでついてきてくれてありがとう！いつもありがとう！」と皆さんに言いたいのです。

こんなことを言ってしまうと 12 号はどうなるんだ？まだ終わってないぞっ！と心配になるかもしれませんが、先に言っておかないと忘れてしまうかもしれないので・・・笑。

というか、本当に購読者の皆さんに対する感謝の気持ちが強くてついつい先走って言ってしまったのです。

私が人に AIRBRUSH を教えるようになって数年（2年くらいかな？）がたちましたが、この本の購読者も含めると教えた人数は延べ何人になったことでしょうか？人数も数えられないくらいになってしまいました。

ご丁寧なメールや手紙、贈り物まで頂くこともしばしばあったりして、すごく感謝している現在であり、すごく幸せな現在です。

一人一人にろくなお礼も出来ていないので、この場をかりて皆さんに「ありがとう！」とここで言わせてもらっている次第です。

人に教えてよかった！本を出してよかった！とつくづく思います。

これも皆さんのおかげ、そんな皆さんへ感謝の気持ちも込めてあと残り2回の

”TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH” を精一杯悔いのないようにならばろうと思っています。

とにかく、「みんなありがとう！」です。



第2章 考えてみよう！

ビデオ CD  “考えてみよう！”を参照下さい。

AIRBRUSHを仕事として・・・

これから AIRBRUSH を仕事としてやっていこうと考えている人は結構多いと思います。

がしかし「甘くはないよ！」とここで伝えておきます。

それはなぜかと言うと、私自身がまだまだ潤っていないからです。

精神的な部分では十分過ぎるくらいに潤っているのですが、問題は金銭面。

数年前に比べれば少しは楽になりましたが、まだまだという感じが正直なところです。

私でもこんな状態ですから、よく考えて下さいよ！戦略はちゃんとたっていますか？と言いたいのです。

商売として成功させていくには、それなりの技術も必要ですし、アイデアや他も持ち備えていなければいけません。

従来はなかなかマネの出来ない特殊技術として、車なんかにはちょこっと絵を描ければ強気の商売が出来たのですが、これからは違うと思うのです。

そのへんをよく考え、戦略をちゃんとたてて仕事として考えているのなら安心なのですが、単に楽しいからとか、儲かりそうだからという安易な考えであれば、もう少し考えてからにしましょう！と私は言いたいのです。

これから益々発展していく AIRBRUSH の分野ですから、やり方次第では大儲けも可能だと思いますが、それなりの戦略や努力が必要ということなのです。

大儲けしなくてよいとしても、生活をしていかなければいけませんから、普通なら月に 10 万円～20・30 万円くらいは稼ぐ必要がありますよね！？

今の仕事をやめて AIRBRUSH 業に切り替えた時に果たしてどうなるのかを考えてみて下さい。

サブ的に AIRBRUSH の仕事をしながら様子を見て徐々に切り替えていくことを私はお勧めします。

AIRBRUSH が盛り上がってきているとは言えども、やりたがる人が多いのであって、AIRBRUSH の作品がジャンジャン売れているということではありません。

作品が欲しくても高額でなかなか手が出ないとか、価値を感じない人や AIRBRUSH 自体を知らない人もまだまだ大勢いるのです。

そのあたりをよーく考えていけば、あなたが今後どのようにしていけば良いかということが、自然に見えてくるのではないのでしょうか？

最初に「甘くないよ！」とキツイ言葉を言いましたが、結局・・・AIRBRUSH を仕事として考えている人は大歓迎！苦しいこともあるだろうけど、その反対に楽しいことや達成感も必ずあるから一緒にがんばっていこう！という最終的な私の意見です。

私にとって AIRBRUSH を職業にしている人達は、ライバルというより良き仲間です。

そんな仲間と共に AIRBRUSH の世界をこれからどんどん盛り上げていきたいと思っています。以上

第3章 ワンポイントレッスン

※ ビデオ CD  “ワンポイントレッスン” を参照下さい。

絵のキメどころ…

この本の読者や教室に来られた生徒さんから、描いた絵をメール等でもらうことがよくあります。その絵を見てみると…

ほとんどの絵に関して言えることなのですが、ボケた感じがする…です。

私自身が描いた絵もその傾向があるのですが、ボケたところは良いとしても、シャープなところはやはりシャープでないといけないと思うのです。

しょせんスプレーで描いているわけなので、ボケるのが当たり前なのですが、そんな中でもシャープなところは出来るだけシャープにしたほうがいいと思うのです。

ちゃんとした写真はピントがあっているところが必ずあるのですが、ピンボケの写真は“ピンボケ写真”として破棄されることが多いのですよね！

絵もそれと同じような考えがあると思います。

全体にボケた中でもシャキッとすべきところはシャキッとしなければ絵として見えないのです。で、そのシャキッとすべきところとはどんな部分なのか…？

簡単に言えば、写真を撮ろうとした時にピントを合わせたいところですよ。

どこをメインとして撮りたいのか？

絵としてなら、どこを一番見せたいのか？

という部分がシャープにするべきところであり、シャキッとすべきところではないかと考えます。全体をハッキリさせるというのではなく、ボケたところとシャープなところの“メリハリ”をつけていけば、その絵の中でどの部分を一番見せたいのか？ 何をその絵で伝えたいのか？がわかりやすくなると思います。



詳しくはビデオCDをご覧ください！

絵のイビツや矛盾・・・

私流に言わせてもらうと、絵を見た瞬間に見える汚い部分とか気になる部分です。

線が蛇行していたり、グラデーションがきれいにかかっていなかったり、色のかぶり方（色の順序）が逆だったり、汚く感じる部分や普通であればこんなことはありえないと感じる部分が要するに“絵のイビツや矛盾”。

このことは、誰がどんな絵を見た時でも感じる共通部分だと思います。

結局、その“絵のイビツや矛盾”を無くせば“きれいな絵”として見られるようになると思うのです。

この本の読者や教室に来られた生徒さんから、描いた絵を見せてもらった時に気になる部分として、もうひとつ！“白かぶり”が気になります。



←左の写真は顔のあごあたりの拡大写真なのですが、これが“白かぶり”です。

（印刷が悪いため、よくわからない場合はCDの画像を見て下さい。）

ここで言う“白かぶり”とは言葉の通り白い色が上からかぶっているような状態を言います。白っぽい色の上に白がかぶるより、黒っぽい色の上に白がかぶるほうが当然目立つのですが、

この“白かぶり”を無くすにはどうしたら良いか？を今から説明します。

スプレーで描いているわけですから、マスキング等を施さない限り、まわりに色がかぶってしまうのは当然のこと、マスキングをしたとしてもはっきりとした色の境界が出てしまって、なおさら醜くなってしまいがちです。

ではどうすればいいのか？・・・

対策としてよく私がやることは“透明感のある色を上から吹きかける”です。

白くなった部分の上から透明感のある色を吹きかけることによって、見事にその“白かぶり状態”はなくなります。

その時に使う透明感の強い色とは要するに白以外の色、その絵に合わせるようにして色を選択して下さい。

色の希釈具合もいろいろやってみて下さい。

また、その部分だけを修正するのではなく、そのついでに全体の色合いを合わせるようにして作業を進めて下さい。

そうすることによって、“白かぶり”が気にならない絵、“色合いのバランスがとれた絵”にすることが出来ると思います。

ついでにもうひとつ！

白と黒の色の特徴をよく理解して絵を描くことによって、より良い絵にすることが出来ると思います。

そのためには、モノクロの絵（白と黒の2色を使った絵）で訓練していけばいいと思いますが、他の色（白、黒以外の色）も時々使って遊ぶようにしていないと、いざカラーの絵を描こうとした時には“ドス黒い絵”になりがちになってしまうので、要注意！です。

第4章 顔を描こう！

※ ビデオ CD  “顔を描こう！”を参照下さい。

モノクロがカラーに大変身！

こんな描き方もあるのです。

このやり方が一番色をきれいにさせて簡単です。

但し、キャンディー色を使用した場合の欠点として、色あせに要注意！です。

色を長期にわたってもたせたいのであれば、顔料系の使用がベター。

きれいで鮮やかな絵は寿命も短いということを心得ておく必要があります。



詳しくはビデオCDをご覧ください！

第5章 お勉強のコーナー

※ ビデオ CD  “お勉強のコーナー” を参照下さい。

手の運び方について…

AIRBRUSH で絵を描く時、ゆっくり筆を運ぶ場合もあるし、速く筆を運ぶ場合もあるということです。どんな時にそれを使い分けるのかをここで説明したいと思います。

ゆっくり筆を進める場合

確実な位置が必要とされる場合はゆっくりと筆を運んでいきます。

目の細かい部分等を書く場合がそうで、もしもこれで速く筆を運んだら、全然違う目になってしまうことでしょう。

速く筆を進める場合

全体の流れ、スムーズな流れを作りたい時は速く筆を運んでいきます。

ある程度の速度や勢いがあれば、線が蛇行する可能性が低くなりスムーズな線を描くことができます。

顔の輪郭や髪の毛一本一本を描く場合はある程度の速度をもって筆を運んだほうが良いと思います。

習字を想像してみてください！ある程度の筆を運ぶ勢いがないと、線が蛇行してイビツな字となってしまいます。

※ 自転車を蛇行しないで真っ直ぐに走らせるには、ある程度の速度がなければいけません。

ゆっくり走ろうとするほど蛇行しやすいし、転倒しやすいですよ！？

それと同じように、蛇行しないでゆっくりと筆(AIRBRUSH)を走らせることが難しくテクニクを要する、ということなのです！

この上の文を読んだあなたはどう思いましたか？

ゆっくりとスムーズに線を描けるように練習をしていけば良いのではなからうか…？

「よし！練習だ！」

と思ったなら、あなたもいよいよ一人前の AIRBRUSH PAINTER に近づいてきているのではなからうかと私は思います。

描きまくって慣れることが大切です！やらなければ上手くはありません！

とにかく描きまくって下さい！

オマケの使い方・・・



またもや怪しいもの・・・ではなく、今回は液状になったパール、色はブルーです。
本来、パールは粉状のものなのですが、使いやすいように液状にされたものです。
この液状のパールをクリアーや透明度の高い色に混ぜていろいろ遊んでみて下さい。



パール独特の輝きを楽しんでみて下さいね！

詳しくは  **ビデオCD** をご覧下さい！

弟子の独り言



3回目になりました今回もよろしくおねがいします。(合掌)

今回は少し大きめの絵に挑戦してみました。今までは普通のノートや A4 サイズの紙にしか描いた事がなかったので初挑戦でした。感想は「決して簡単ではない、けれど僕が思っていたほど難しくなく凄く楽しい」です。小さい絵よりは描き終わったときの充実感と言うか達成感みたいなモノが大きいからかな？描き始めはこんなに大きいキャンバス（本当は大して大きくないですよ）に本当にかけるのかよ？俺！？みたいに思ったし、描いていて自分がどこを描いているのか目が回って解からなくなったりしたけれど、要は小さいのと同じだと思いました。いまではもっと大きい絵をかいてみたいと思えるようになってきました。これは余談ですが以前どこかで聞いた話なのですが、グラフィティーをしている人の話で、初めは自信が無いから小さい絵から始めて自信がついてくると共に大きい絵を描いていくのだそう…。あの人たちは人から見られたいと思う人が大半だろうから、絵が大きくなっていくのは当然だろうけど、やっぱりそのなかでも大きい絵を描いた方が楽しいと感じているのではないのでしょうか。一応言っときますが僕は決してグラフィティーを支持する者ではないですよ。えー、それから今月は色を本格的に使った絵も初めて描いちゃいました。感想はやっぱりこれも「楽しい」ですね（表現力が乏しくてすみません）。何が楽しいかと言うと、色を作る時と自分が納得いく色が出来たとき、出来そうなき僕の中のアドレナリンがチョットだけであるようです。殆どの場合、この色でいいのかな？とか、もうちょっとあの色を入れてみようかなとか、悩みながらやっていますけどね。まあ、簡単に満足していたら良い物は出来ないし向上していかないので、たくさん悩んでたくさん失敗していきたいですね。諦めたらただの失敗だけど諦めなければ失敗は成功の素だと思いますよ～。あと最近、何枚か絵を描いていると、僕の絵はバランスが良い等と、周りの人に誉めて頂くことがありました。その事を僕なりに考えてみました。小さい頃から絵を描くことが嫌いではなかったので、よくお絵描きはしていました。車やトラックなんかをよく模写していたことを今でも覚えています。その後は特にその系の学校に行くわけでもなく、ノートに落書きする程度だったのですが、今から2年位前にデッサンを教えてくれる教室に習いに行った事があります。それからはなるべく描くように心がけていますね。こんな感じだったので、絵をよく描いていた事が誉められる事につながったのかなと思います。絵を描くことと模写することはチョットちがいますけどね。ちなみにデッサンは鉛筆で描くのですが、光と影を考えながら描いていくので、それを見てとらえる事なんかに

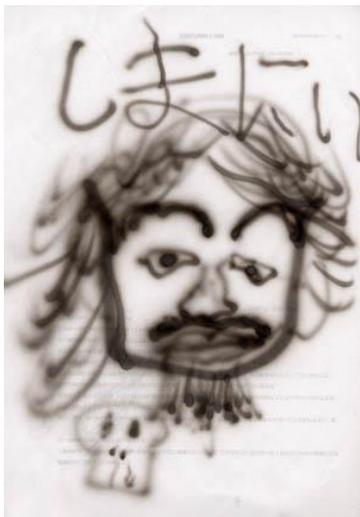
結構有効な練習だとおもいますよ。それに最初は手で距離を測っていたのがそのうちに目で測れるようになってきました。頭の中で定規を出してここが二分の一とか、ここが三分の一とか、実際にちかいたところを目で位置が測れるようになってきました。一番大事なのは楽しむことですね。練習と思うと気が重いので楽しんで絵をかくことが一番です。それから毎日描くことが大切ですよね。

今月は僕から見た TOTAL-T もレポートしたいと思います。皆さんの中のどれだけの人が普段の TOTAL-T の姿を知っているのか一つテストをしてみたいと思います。僕が修行に励んでいる間、皆さんの思う TOTAL-T は

1. バリバリに絵を描きまくっている。
2. 全く寝ないで研究しまくっている。
3. 日々創作活動に追われている。
4. とてつもなく助平おやしをしている。

など…とっていませんか？それは固定観念だー（TOTAL-T 風に！）。そうなのです。全然違うのです。4番だけは正解なのですが…普段はこの本に載っている黄色いソファに横になっているあの挿絵そのまま、あれが正しい形なのです。僕が見るときは、寝ているかお喋りしているか模様替えしているかセクハラしているかのどれかですね。セクハラが多いかもしれませんね。また、まともに絵を描いている姿もほとんど見たことがありません。僕がここに居る間に絵を描いている姿を見ることができると少し心配です。この動きの中に何かヒントがかかっているのでしょうか！？全くわかりません。僕が修行に励んでいる間も相変わらずあの挿絵のままで、どうなっているのだから全くよくわからない会社ですねここは。まあ、そんなところでもエアブラシを初めて持った僕が多少なりともエアブラシが扱えるようになってきました。これもまた不思議ですね。ここまで書いて気付きました。ちょっと言い過ぎです。だからというかフォローというか、一つの出来事です。今回カラーで描いた絵、自分では結構頑張ったのですが、TOTAL-T が最後にちょっと手直しをしていたのです。それは当然としても、驚いたのは僕の使っていない色を使っているのを見たとき正直やられたというか、流石というか。皆さんはこのエロ仙人をどう思いますか…。

島崎 卓也



TOTAL-T 息子作

第6章 知ってもソンしないコラム

今回の“知ってもソンしないコラム”はTOTAL-Tの弟子についてお話しします。

今の島ちゃんです3人目の弟子となるのですが、弟子というよりも仕事を手伝ってくれるボランティアスタッフといったところでしょうか？

一緒に仕事をするということは、当然のごとく仕事ができないと使い物にはならないわけなので、最初は雑用から始まり、徐々に仕事を教えていき戦力として活躍してもらっています。

いつもAIRBRUSHをしているかと言うと、そうではなく、掃除やかたすけ、その他雑用のほうが圧倒的に多いと思います。

教室の生徒さんの場合はお客様という考えで対応するので、気分良く勉強できるようにとか、上手く上達出来るように対応するのですが、弟子(=スタッフ)に教えるとなると多少具合が変わってきます。

対応も「見て覚えろ！」とか「教えないよ！自分で失敗をしながらとことんやってみることだっ！」と実際には結構冷たいもんです。

生活も不規則そのもので、尚且つ、私のわがままに付き合うようにしなくてはいけないので、当人に見たらもう大変！ってところでしょう。

でも、それが弟子としての立場として当然のことだと思います。

親方である私のやり方に反感や怒りを感じるようになればやめていくしかないと思いますが、ある意味そこで一人前なのです。

勘違いしてほしくないのと言っておきますが、反感や怒りを感じるようになっての卒業ではなく、それぞれに自分が盗むべきところは盗んだ！あとは自分の世界を切り開いて行こう！という気分になった時が卒業の時期。

私的にはまだまだ教え足りないところがたくさん残っているのに・・・といつも卒業時に思うのですが、本人の選ぶ道なのでしかたのないことだとも思っています。

それぞれの個性でがんばってほしいので、自分のコピーみたいな人間が出来ても逆に面白くありません！

もしも、自由人の私が、こんなわがままな親方のもとへ弟子入りしようものならイヤになって即効で逃げたいと思いますが、みんなよく耐えてくれているな～といつも感心してしまいます。

弟子として親方の仕事を手伝うことで、技術ややり方を盗めるのが最大の特権なのですが、うまく盗む方法をひとつだけ言っておきます。

親方を気分良くさせるのが一番！気分が良ければついつい何でも教えちゃう！です。

もしも読者の方で弟子入りしたい方がいた場合を考えて一応ここで言うっておきますね！（笑）。

三番目の弟子“島ちゃん”は11月の末をもって卒業となります。

島ちゃんもよくここまで耐えてくれました。

卒業直前に島ちゃんが書く“弟子の独り言 VOL.12”も是非楽しみにして下さい。（また何を書かれるかわかりませんが・・・）

これからの島ちゃんを皆さんも暖かく見守ってやって下さい！よろしくお願い致します。

TOTAL-T 竹島敏也

この本と共に勉強していきたい方のための道具選び

これから AIRBRUSH を始めようとする購読者のみなさんへ
私がお勧めする道具等を紹介していきます。
私が経験をもとに厳選したもので、
安心してご使用できることと思います。
ほしいものがあればご購入ください！
その道具を使いながら、私と一緒に勉強していきましょう！
購入しなくても、いっこうにかまいません。
参考にするだけでもいいと思います。
道具は財布と相談しながら、少しずつ揃えていけばいいと思います。
この本と共に勉強していくために、
必要なものを少しずつ紹介していきます。
よけいなものは紹介しませんので、ご安心ください。



TOOL の購入を希望される方は…

※付属のビデオ CD から購読者専用ページに入れるようになっています。

購読者専用ページ→**TOOL コーナー**よりお申し込み下さい。

道具に関してのご質問やご要望などありましたら、遠慮なくお申し付けください！

ビデオ CD とオマケについて…

ビデオ CD を見ていただきたい！

手作りでのビデオ CD も作っているために、画像が悪かったり、しゃべっている声
が聞きづらかったりするかもしれませんが、
どうかお許し下さい。

しかし、内容は充実していると思います。

このビデオ CD を見なければ始まりませんよ！



オマケで遊んでいただきたい！

今回のオマケは液状のパールです。

※魚の入れ物に入っていますが、口に入れるものではないので

お子様がおられるご家庭等では、くれぐれもご注意ください。

CD の見方は…

CD をパソコンに入れると、自動的にインターネットエクスプローラが立ち上がるはずですが。

あとはメニューの中身を見るだけです。

うまく見られない場合は CD の中身をエクスプローラ等で表示させ、一つ一つのデータをクリックしてみてください。

見られないといった連絡も現在数件ありましたが、CD が不良ではなく、ほとんどの場合がパソコンの不具合や CD プレーヤーの不具合、またはインターネットエクスプローラやメディアプレーヤーがインストールされてない場合です。

メディアプレーヤーについてですが旧バージョンだと見れない場合があるので、最新版のダウンロードをお勧め致します。

うまくいかない場合は、パソコンのことを知っている近くの方に相談してみてください。

万一、CD が不良の場合は CD を再度お送り致しますので、ご連絡下さい。

マッキントッシュのパソコンでは見られないかもしれませんのでその点はご了承下さい。

編集後記

“TOTAL-Tが教える HOW TO AIRBRUSH VOL.11” いかがでしたか？

今回も発行が予定より大幅に遅れてしまい、誠に申し訳ありませんでした。

次回の最終号 VOL.12 の発行予定日はいつものように月末予定ですが、またどうなることやらです…。

とにかく最終号 VOL.12 は“総まとめ”です。

今のところ、どんなふうにとまとめるかというのも未定ですが、とにかくいつものように、精一杯がんばって作っていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

これから寒くなってまいります、皆さん風邪などひかないようにして待っていて下さいね！

それでは次回まで！

本のご予約について・・・

[当ホームページ](#) → [BOOK](#) → [購読申込フォーム](#) よりご予約ください。

自分の予約状況を知りたい場合や予約を解除したい場合はメール等でお問い合わせください。

尚、携帯電話からでも当ホームページ <http://total-t.com>

にアクセスしていただければ購読予約ができるようになっていますのでご利用ください。

不具合等を発見されましたら遠慮なくお伝え下さい。

★AIRBRUSH PAINT & TOTAL-TECH★

TOTAL-T

〒920-2104 石川県石川郡鶴来町月橋町 416-1
TEL 0761-93-9002 FAX 0761-93-5551
URL <http://total-t.com> Mail toshi@total-t.com

最後まで読んでいただきありがとうございました。